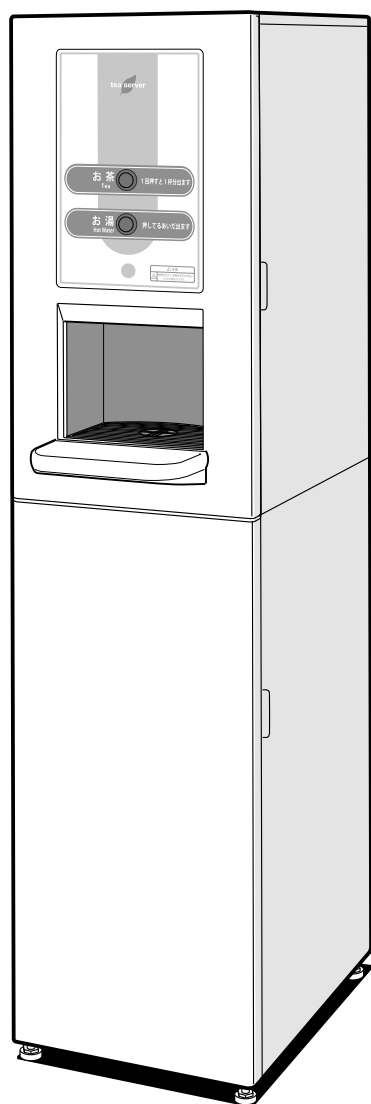


自動お茶いれ機 取扱説明書

形名

HTC-216L



もくじ

安全上のご注意	1～3
お願い	4
各部のなまえとはたらき	5～6
はじめてご使用になる前に	7～8
給水のしかた	9
排水のしかた	10
原料の入れかた	11
動作音を設定する	11
湯温を設定する	11
飲料量を設定する	11
原料量を設定する	11
お手入れ	12～14
カップ置台の取付方法	15
別売部品	16
修理サービスを依頼する前に	17
仕様	18
保証とアフターサービス	18
長期使用製品の安全に関する表示	19

- このたびは自動お茶いれ機をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、いつも手元においてご使用ください。
- 工事説明書および保証書を販売店から必ずお受けとりのうえ保存してください。



安全上のご注意

ここに示した注意事項は、据え付け工事をするかた、お使いになるかた、他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

据え付け工事の完了後は試運転をおこない、異常がないことを確認してください。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

【表示の説明】




表示	表示の意味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（*1）を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（*2）を負うことが想定されるか、または物的損害（*3）の発生が想定されること”を示します。

*1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。

*2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。

*3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図記号	図記号の意味
 禁止	⊘は禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 指示	●は指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
 注意	△は注意を示します。 具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

【本体ラベルの確認】

本体に警告・注意ラベルを貼り付けてありますので、ご確認ください。もし、ラベルが紛失していたり汚損により見にくいときは、お買い上げの販売店にご連絡ください。

免責事項

- 地震・雷および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、改造、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生じる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断による損失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。

⚠ 警告

異常がある場合は、事故防止のため電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店に点検・修理を依頼する

異常のまま放置すると感電・火災・水漏れの原因になります。



電源プラグを抜く

分解・改造・修理はしない

発火したり、異常動作してけがの原因になります。



分解禁止

電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使用する

他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。



コンセントを単独で使用する

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



傷んだ電源コード、電源プラグ禁止

電源プラグの刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き乾いた布などでよくふく

ほこりが付着したり接続が不完全な場合は、感電や火災の原因になります。



ほこりをとる

漏電遮断器（電源スイッチ）の動作を確認する

故障のまま使用すると漏電のとき感電する原因になります。

漏電遮断器（電源スイッチ）のテストボタンを月に一度押して、動作を確認してください。



動作の確認

アース（接地）線の取り付けを確認する

故障・漏電のときに感電する原因になります。

D種接地工事が必要です。またアース線はガス管・水道管・避雷針・電話線などへの接続はしないでください。



アースの接続

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る

感電やけがの原因になります。



指示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない

ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

原料容器棚には手を触れない

原料の防湿のため高温になっており、やけどをする原因になります。



接触禁止

飲料抽出動作中は機構部に手を触れない

やけどやけがをする原因になります。



接触禁止

湿気の多いところや、水のかかるところへは据え付けない

漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

安全上のご注意 (つづき)

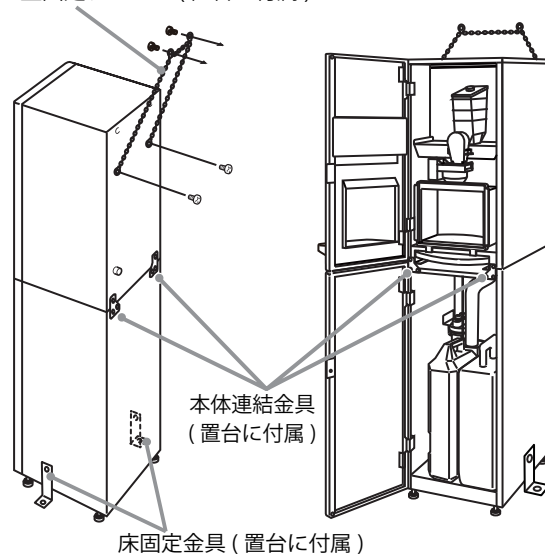
警告

地震などによる転倒防止の処理をする
振動により転倒し、けがの原因になります。

- 事故防止と地震などの非常時の安全確保のために、水平で安定した場所に設置してください。
 - 製品を安定させるため、同梱のすべり止めシートを高さ調整脚（4箇所）の底面に貼り付けてください。（7ページ参照）
 - 置台を使用する場合は、自動お茶いれ機の高さ調整脚（4箇所）を取り外し、置台の底部へ取り付け、グラグラしないように高さを調整し、置台に付属の床固定金具（2枚）で床に確実に固定してください。
- 次に、置台に付属の本体連結金具（4枚）を取付けて自動お茶いれ機と置台を連結してください。
- また、置台に付属の壁固定チェーンで自動お茶いれ機を壁や柱に確実に固定してください。

※詳しくは置台に同梱の取付け説明書をご覧ください。

壁固定チェーン（置台に付属）



本体連結金具
（置台に付属）

床固定金具（置台に付属）



転倒防止

注意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火する原因になります。



電源プラグを抜く

月に一度は電源プラグ部分を点検する

電源プラグとコンセントの接触が悪くなり、異常発熱して発火する原因になります。



電源プラグの点検

本体上に重量物を置かない

扉の開閉で落下し、けがをする原因になります。



上乗せ禁止

カップ置台の上に乗ったり、重いものを載せない

カップ置台が破損しけがをする原因になります。



上乗せ禁止

本体上に水を入れた容器を置かない

水がこぼれ電気絶縁が劣化し、漏電や感電の原因になります。



上乗せ禁止

本体の近くにガス類や引火物を置かない

発火の原因になります。



引火物禁止

水道法の水質基準に適合する水を使用する

お湯（30℃以上）や適合しない水を給水すると、衛生上の問題や故障の原因になります。



指示

お願い

長時間お使いにならないとき

2日以上ご使用にならなかったとき

湯タンク内の水温が低い状態で長時間放置すると、雑菌が繁殖するおそれがあります。

湯タンクの水を排水し、新しい水道水と入れ替えてください。

前面板を開け、電源スイッチを切り、カップステーションを取りはずし、湯排水コックを「開」にして排水します。

排水が終了したら湯排水コックを「閉」にし、再度電源スイッチを入れます。

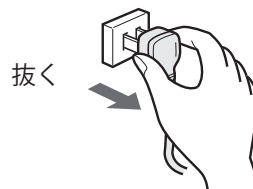
日常のお手入れは、湯排水コックを閉じておこなってください。



1週間以上ご使用にならないとき

原料容器の原料を全部取り出します。止水栓を閉め排水し、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、「排水のしかた」(10ページ参照)にしたがい排水してください。

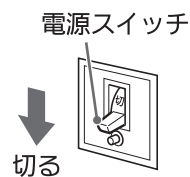
別売置台 (CT-6L0) をご使用の場合は、水タンクと排水タンクの水も、必ず排水してください。



お願い

別売置台CT-6L0の排水タンクに排水するときは、排水タンクを空にしてから排水してください。

空にしないと排水タンクが溢れる場合があります。

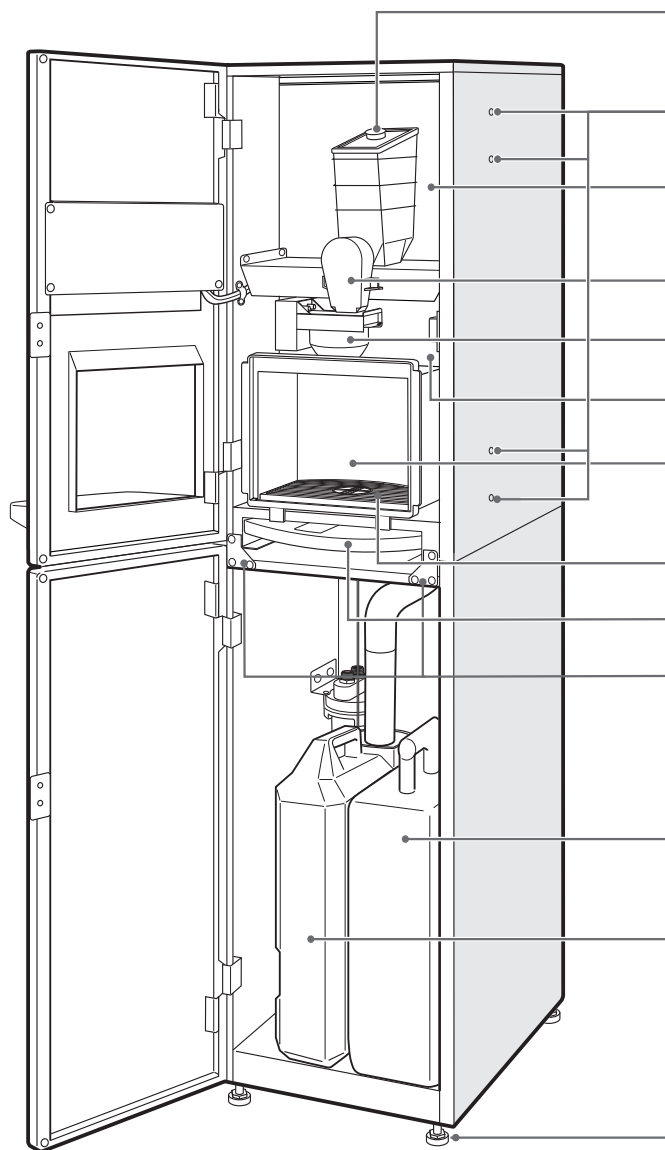
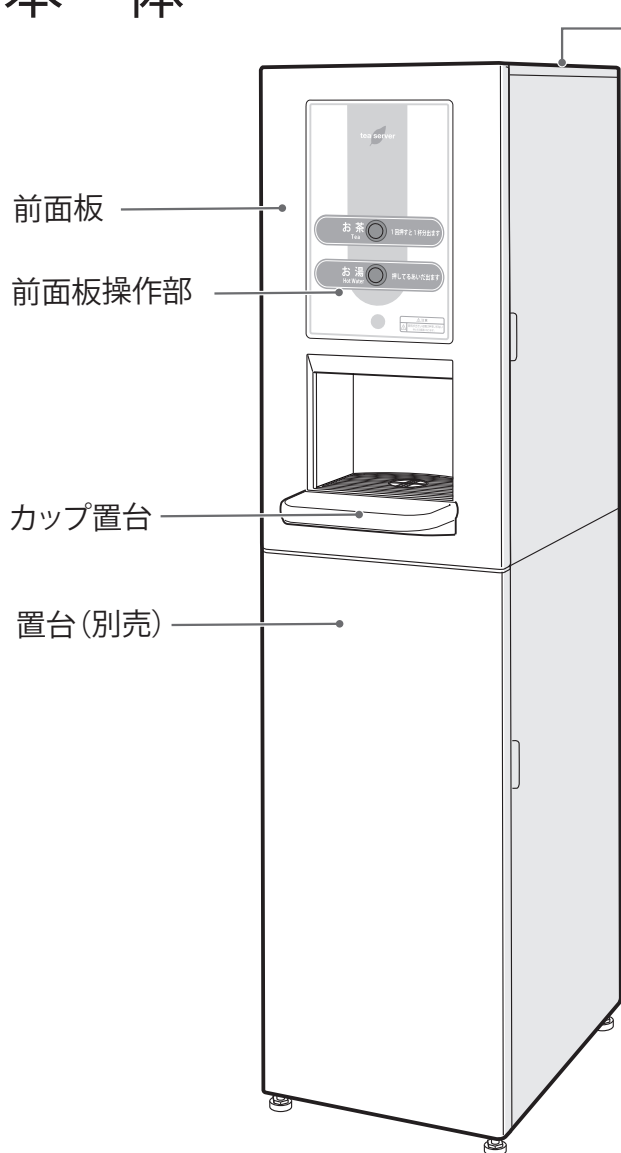


お湯と水の配管部分は定期的に点検してください

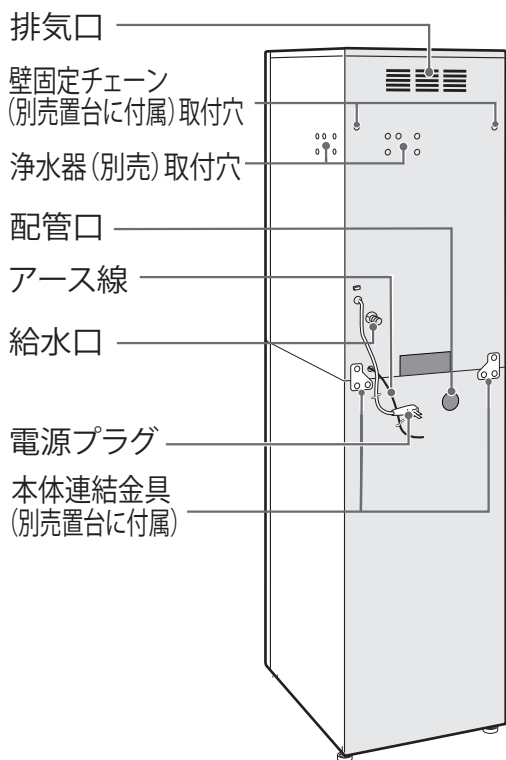
水の中に含まれている成分の量により、水あかや沈殿物が発生し、故障の原因となる場合があります。点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。

各部のなまえとはたらき

本体



※上図の置台はCT-6LO (下部給水方式)



マイコン操作部

	リンス 抽出機構部を 洗浄します。
	湯温 湯の温度を 設定します。
	飲料量 注出される 湯量を設定 します。
	原料量 注出される 原料の量を 設定します。

粉料茶用設定時は () 内の数値になります
※目盛りの数字は目安です。

リンスボタンを押すと、飲料通過部分 (ミキシングボール) を洗い流せます。

(13ページ参照)

つまみを調整することで、湯温・飲料量・原料量を設定できます。

(11ページ参照)

前面板操作部

原料容器

カップホルダー(別売)
取付穴

マイコン操作部

原料シュート

ミキシングボール

フィルター(奥側)

カップステーション

スノコ

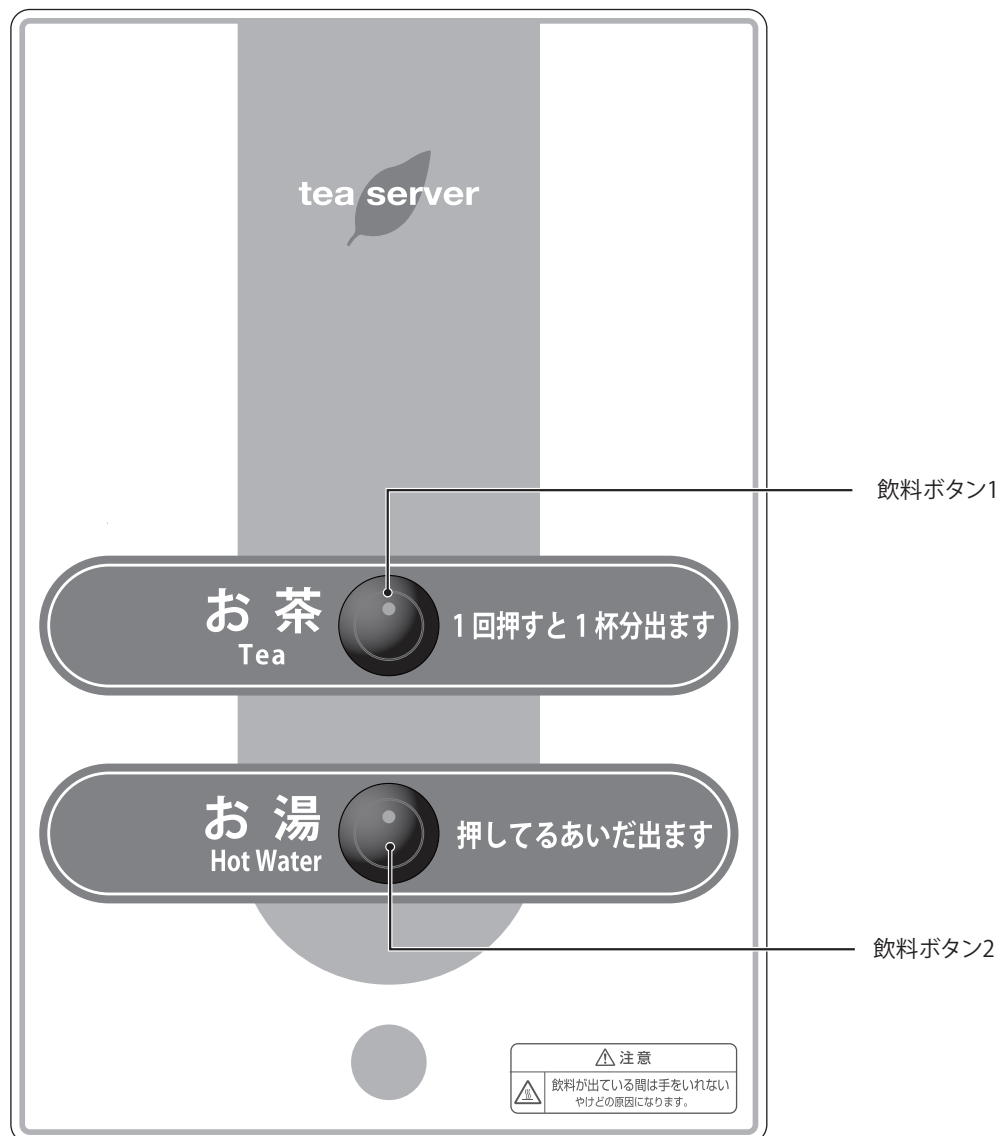
排水皿

本体連結金具
(別売置台に付属)

給水タンク
(別売置台に付属)

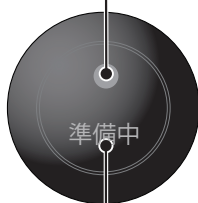
排水タンク
(別売置台に付属)

高さ調節脚



飲料ボタン

ボタンランプ



準備中ランプ

ボタンランプ

- ボタンランプが点灯している飲料ボタンを押すと、抽出することができます。抽出中はボタンランプが点滅します。
- リンス中は、すべての飲料ボタンのボタンランプが点滅します。

準備中ランプ

- 正常な状態では消灯しています。
- 置台CT-6LO（下部給水方式）を使用のとき、置台の排水タンクが満水になると「飲料ボタン1」の準備中ランプが点滅します。
- 断水を検知すると「飲料ボタン2」の準備中ランプが点滅します。
- 湯タンク内の温度が適温以下となったとき、または湯タンクの水位が低く抽出できないときは、すべての飲料ボタンの準備中ランプが点灯します。

はじめてご使用になる前に

警告

湿気の多いところや、水のかかる
ところへは据え付けない
漏電の原因になります。



湿気・水の禁止

アース（接地）線の取り付けを確認する
故障・漏電のときに感電する原因になります。
D種接地工事が必要です。またアース線は
ガス管・水道管・避雷針・電話線などへの
接続はしないでください。

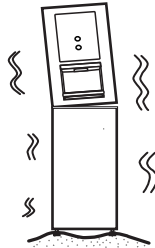


アースの接続

設置環境の確認

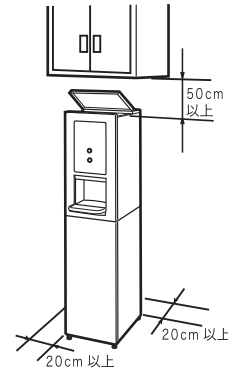
床は丈夫で平坦な場所に据えつけられていますか

床が傾いていたり不安定な場所では、
転倒したり振動や騒音の原因になり
ます。



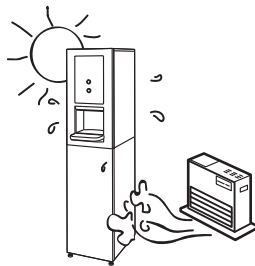
風通しが良く保守や修理サービスの容易なところに据え
付けられていますか

必ず両側面と後面は20cm以上の隙間を開けてください。
スペースを開けないと換気効率が悪くなったり、扉を開け
たとき物に当たったりします。また、上側は修理サービス
のときに、上面板が開けられるように50cm以上空間を
開けてください。



直射日光の当たる場所や、熱器具のそばに据付け
られていませんか

過熱し故障の原因になります。



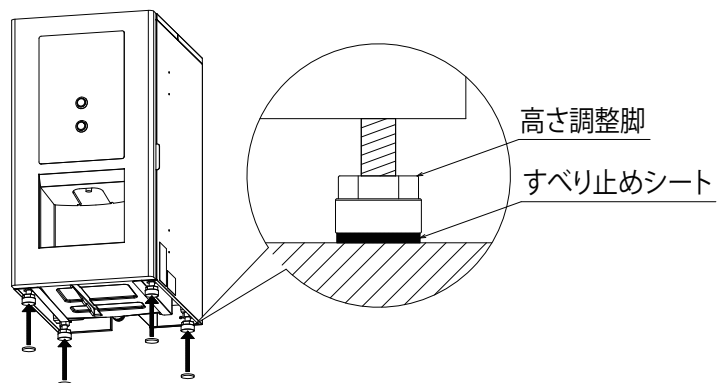
輸送のためのテープや保護パッキン類を取りはずす

内部などの包装材や、固定用の接着テープが付着していないか確認します。

すべり止めシートを高さ調整脚（4箇所）に貼り付ける

製品を安定させるため、同梱のすべり止め
シートを高さ調整脚（4箇所）の底面に
貼り付けてください。

（置台を使用する場合は3ページ参照）



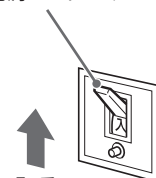
電源の入れかた

前面板を開けて、電源スイッチを兼ねている漏電遮断器のレバーを上にあげると電源が入ります。

別売置台CT-6LOをご使用の場合

電源を入れる前に、置台の水タンクに満水レベルまで給水してください。
水タンクが空の状態電源を入れると、ポンプが故障する原因になります。

電源スイッチ



入る

より衛生的にご使用いただくために

工場出荷時にタンクや本体内の配管内部を洗浄していますが、より衛生的にご使用いただくために、次の手順を2～3回繰り返し内部を洗浄してください。

1. 「給水のしかた」(9ページ参照)にしたがい給水します。
2. 前面板操作部の各飲料ボタンを押し、それぞれコップに4～5杯分の水を排水します。
3. 「排水のしかた」(10ページ参照)にしたがい本体内部の水を排水します。
4. 再度、給水してからご使用ください。

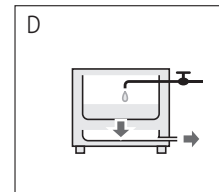
給水排水方式について

据付場所や給水・排水の方法により2つのタイプがあります。

Dタイプ (水道直結・直接排水・卓上式)

既存のテーブルやカウンターの上にセットし、給水は水道に直結し、排水は排水口に直接排水して使用します。

また、別売のキャビネット式置台(CAT-6L)の上に設置して使用することもできます。



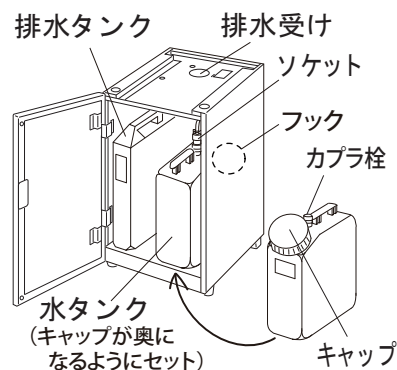
Tタイプ (下部給水・排水容器付)

別売の下部給水式置台(CT-6LO)を使用すると、置台の水タンク(15L)から内蔵ポンプで自動給水をおこない、排水は置台の排水タンク(10L)に排水することができます。

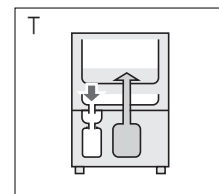
ポンプ電源は本体からとり、電源コンセントはいりません。

置台内部に除菌浄水器(水フィルター)が組込まれています。

除菌浄水器は定期的に交換が必要です。



別売置台CT-6LO



給水のしかた

前面板を開け、カップステーションを取りはずし、湯排水コックが閉まっていることを確認します。



湯タンクへの給水

Dタイプ(水道直結・直接排水・卓上式)の場合

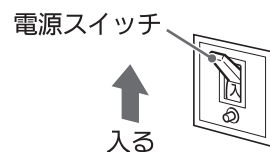
1 止水栓を開き給水する

水道の止水栓を開き、本体内部や給水配管からの水漏れがないことを確認します。



2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

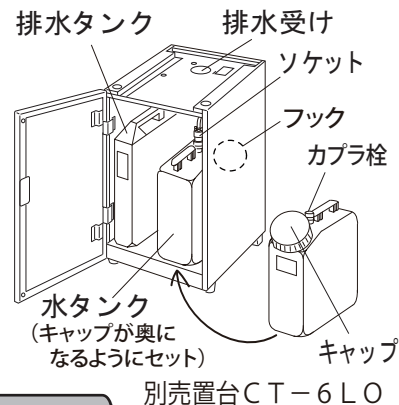


Tタイプ(下部給水・排水容器付)の場合

1 置台の水タンクに給水する

置台の水タンクに満水レベル(15L)まで給水します。

- ①カプラ栓からソケットをはずし水タンクを取り出します。
このとき、はずしたソケットは置台内右側のフックにかけてください。
- ②水タンクのキャップを外して給水します。
- ③給水が終了したら、水タンクにキャップを取り付けます。
- ④水タンクを元の位置に戻します。
- ⑤カプラ栓にソケットを確実に接続します。
- ⑥ホースがつぶれてないことを確認します。



別売置台CT-6LO

⚠ 注意

タンクに給水してから電源を入れる

水タンクが空の状態では電源を入ると、ポンプが故障する原因になります。



指示

カプラ栓からソケットをはずしてから水タンクを取り出す

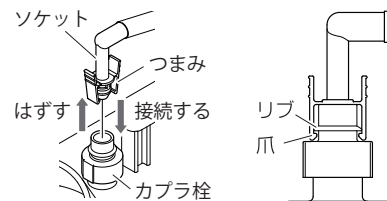
カプラ栓にソケットが付いたまま水タンクを引き出すと、部品が破損し故障・漏水の原因となります。



指示

●カプラの着脱

はずすときは、ソケットのつまみを持って、上方へ持ち上げてはずします。接続のときは、ソケットをカプラ栓の突き当たりまで差し込み、カプラ栓のリップにソケットのつまみの爪を引っ掛けて固定します。接続するときは、ソケットの爪がカプラ栓のリップに引っかかって固定されていることを確認してください。爪がはずれていると、使用中にソケットがはずれるおそれがあります。



2 電源を入れる

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを上げ電源を入れます。湯タンクに自動的に給水されます。

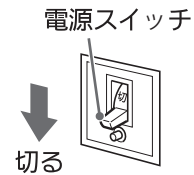


排水のしかた

湯タンクの排水

1 電源スイッチを切る

前面板を開け、漏電遮断器のレバーを下げ電源を切ります。電源スイッチを切らないと、排水中に給水してしまいます。



2 湯排水コックを開き排水する

カップステーションを取りはずし、湯排水コックを開きます。別売置台の排水タンクに排水するときは、排水タンクを空にしてから排水してください。空にしないと排水タンクが溢れる場合があります。



3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し湯排水コックを閉じます。

お願い

2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖のおそれがあります。湯タンクの水を排水してください。

別売置台 (CT-6L0) 水タンクの排水

湯タンクの排水をしてから、水タンクの排水をしてください。

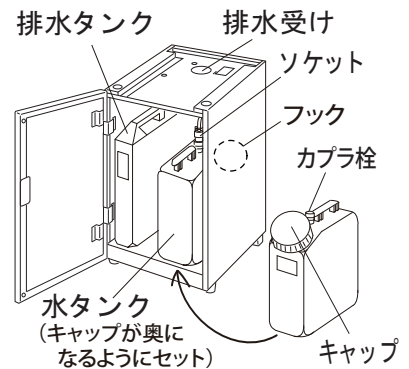
1 湯排水コックを開き、電源を入れる

前面板を開けカップステーションを取りはずし、湯排水コックを開き電源を入れます。電源を入れたままで湯排水コックを開くことにより、水タンクの水を湯タンクに給水しながら排水がおこなえます。約5分が過ぎると自動的に給水が停止します。排水が足りないときは、電源を一旦切り、再度入れてください。排水タンクに排水するときは、必ず排水タンクを空にしてから排水してください。空にしないと排水タンクが溢れる場合があります。



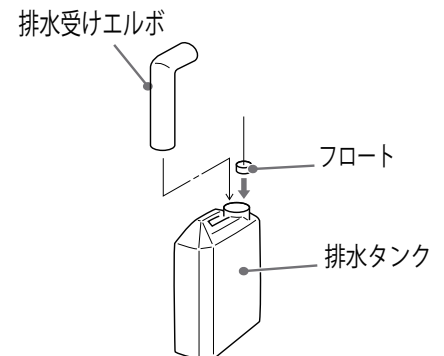
2 ソケットをはずし残水をすてる

水タンクの水がほぼ無くなったなら、電源を切り水タンク上部のソケットをはずし、水タンクを取り出し残水をすてます。このとき、はずしたソケットは置台内右側のフックにかけてください。



3 湯排水コックを閉じる

排水が完了したのを確認し、湯排水コックを閉じます。



お願い

別売置台は、2日以上ご使用にならないときは、雑菌繁殖のおそれがあります。水タンクの水を排水してください。

⚠ 注意

置台上部の排水受けエルボの先端部を排水タンクの中に確実にに入れてください。また、置台上部に取り付けられているフロートを排水タンクの中に入れてください。これらの位置が正しくないと水漏れになります。



指示

原料の入れかた

指定の原料以外はご使用にならないでください。
原料の種類によって粒度や吸湿性が異なると、正常な動作ができないことがあります。
詳しくは、販売店にご相談ください。

原料容器に原料を入れるときは

原料容器の蓋を開け、上から原料を静かに入れます。
原料容器の容量は約800mlです。
原料容器をたたいたりして、原料を無理につめ込まないでください。
内部で固まり出なくなることがあります。

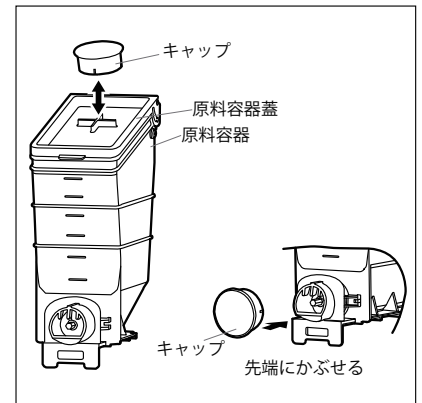
原料容器を着脱するときは

原料容器の先端から原料がこぼれないように、原料容器蓋についているキャップを取りはずし、原料容器の先端にかぶせ、静かに取り扱ってください。

粉碎茶原料を使用するときは

製品に付属の原料容器は粉末原料用です。
粉碎茶原料を使用する場合は、別売の粉碎茶用原料容器（FCK-6L）を使用してください。
自動お茶いれ機本体の電源を一旦切り、飲料抽出ボタン「お茶」を押しながら電源を入れ、飲料抽出ボタンをそのまま2秒間以上押し続けると、粉碎茶モードに設定されます。また、もう一度同じ動作をおこなうと、粉末原料モードに戻ります。

(モード確認方法) 粉末原料モード：電源投入後5秒間、「お茶」ボタンランプが点滅しない。
粉碎茶モード：電源投入後5秒間、「お茶」ボタンランプが点滅する。



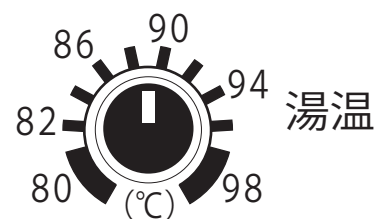
動作音を設定する

自動お茶いれ機本体の電源を一旦切り、飲料抽出ボタン「お湯」を押しながら電源を入れ、飲料抽出ボタンをそのまま2秒間以上押し続けると、抽出時およびリンス時の動作音がなしに設定されます。また、もう一度同じ動作をおこなうと、動作音ありに戻ります。

(モード確認方法) 動作音あり：電源投入後5秒間、「お湯」ボタンランプが点滅しない。
動作音なし：電源投入後5秒間、「お湯」ボタンランプが点滅する。

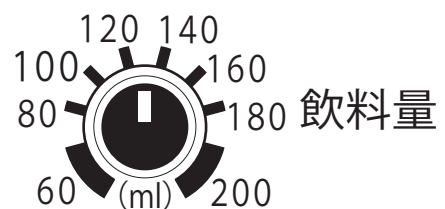
湯温を設定する

「湯温」つまみで湯タンク内の沸き上げ温度を設定します。
標高の高い場所など、設置場所によっては沸騰するおそれがあります。
そのときは沸き上げ温度を下げてください。



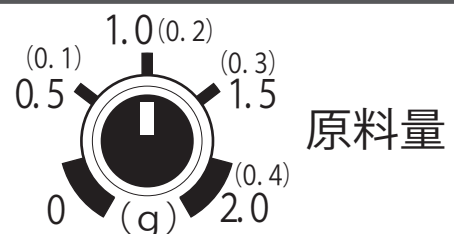
飲料量を設定する

お茶ボタンを押したときに抽出されるお茶の量を「飲料量」つまみで設定します。
カップの大きさなどに合わせ、お好みの量に設定してください。



原料量を設定する

お茶の濃さのお好みに応じて「原料量」つまみで設定します。
目盛の数字は粉末原料使用時の目安で、原料種類などの使用条件により変化します。
粉碎茶原料を使用の際は、()内の数値になります。
(別売の粉碎茶用原料容器（FCK-6L）をご使用ください。)



お手入れ

⚠ 警告

部品の取り付け、取りはずしおよびお手入れするときは、電源スイッチを切る
感電やけがの原因になります。



指 示

お手入れするときなど、本体各部に直接水をかけない
ショートや感電の原因になります。



水かけ禁止

⚠ 注意

お手入れ部品は確実に取付けてください
故障の原因になります。



指 示

部品を取りはずし洗浄するときは

ぬるま湯（50℃以下）をご使用ください。高温のお湯を使用すると、変形したり故障の原因になります。

汚れが落ちにくいときは

薄めた中性洗剤を使用し、柔らかいスポンジなどで擦り洗いし、きれいな水で洗剤を洗い流してください。

原料容器を着脱するとき

原料を入れたままで原料容器を着脱するときは、その先端から原料がこぼれないように、先端にキャップをかぶせ、静かに取り扱ってください。

お手入れが終わったら

部品をもとの位置に納め、電源スイッチを入れてご使用ください。

お手入れの時期と手順

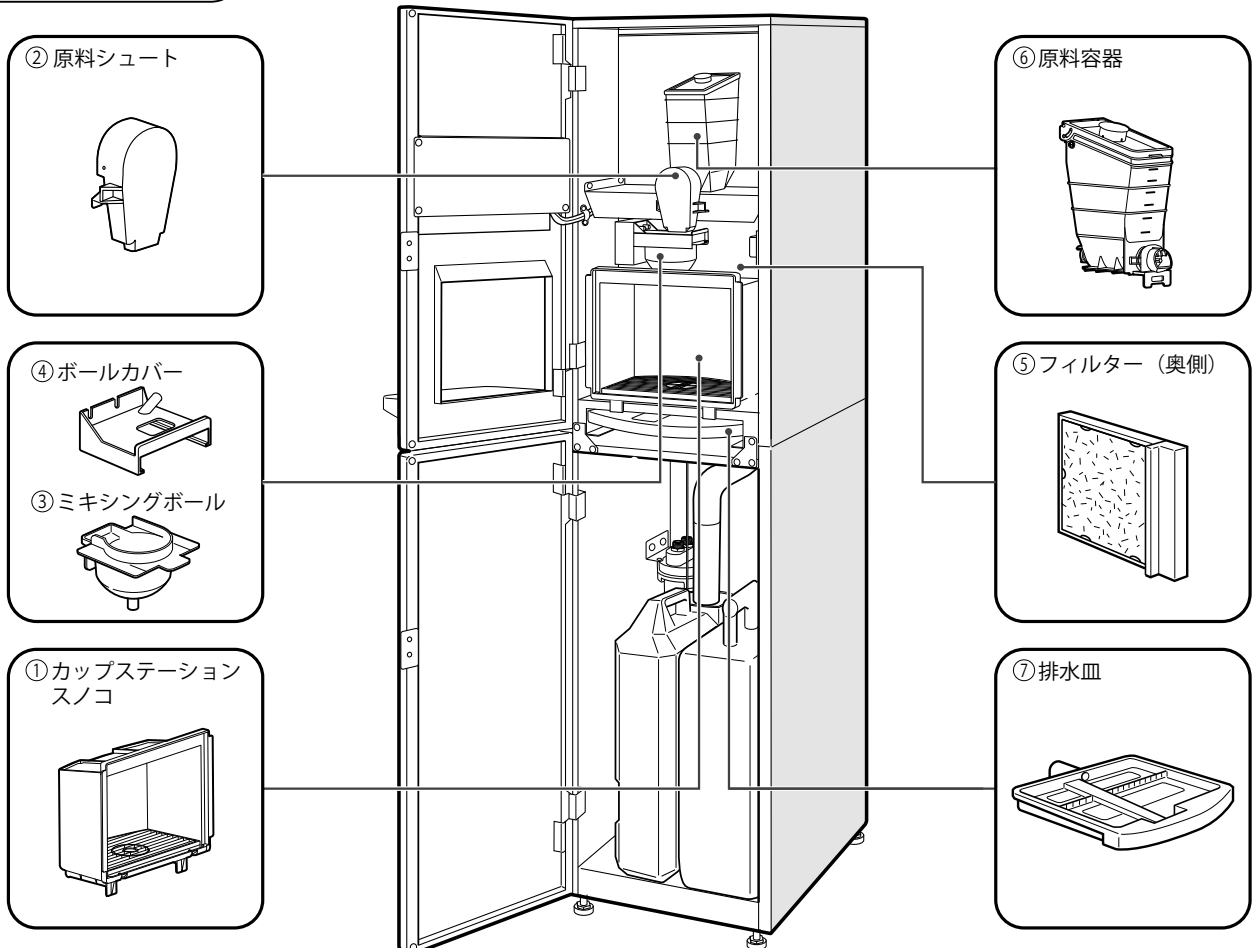
お手入れの時期と手順は下図の順番でおこないます。

順番が違うと取りはずせない部品もあります。取り付けるときは、逆の手順でおこなってください。

毎日のお手入れ …①②と[リンス]ボタンによるリンス洗浄

週に一度のお手入れ …③④⑤と湯タンクの排水

月に一度のお手入れ …⑥⑦と別売置台の排水受けの排水口



毎日のお手入れ

手順にしたがい部品を取りはずしてください。取り付けは逆の手順でおこないます。
機械内外のホコリや汚れは、きれいな布でふき取ります。

手順	部 品	お手入れのしかた	
—	ミキシングボール	[リンス] ボタンを押して湯を流し、飲料通過部分（ミキシングボール部分）を洗い流してください。（5ページ参照）	
①	カップステーション ス ノ コ	少し持ち上げてから、手前に取りはずします。 洗浄した後は水気を良く切ってください。	
②	原 料 シ ュ ー ト	上に軽く持ち上げてから、手前にはずし、原料シュートと原料シュートカバーに分解してください。 洗浄した後、水気をよく切り、十分に乾燥させてから取り付けてください。	

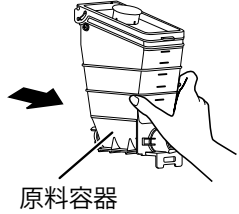
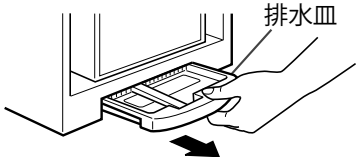
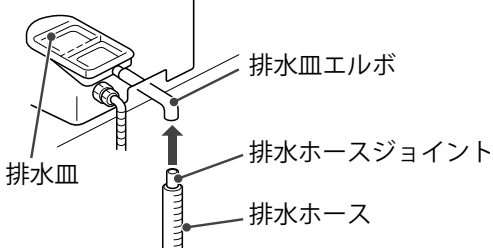
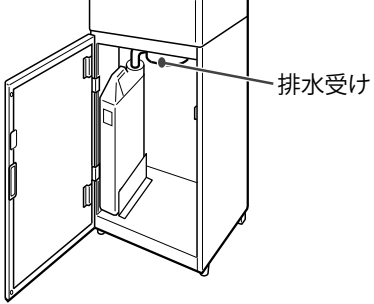
週に一度のお手入れ

①②の部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。
取り付けは逆の手順でおこないます。

手順	部 品	お手入れのしかた	
③	ミキシングボール	ツマミを持って右側にずらし、部品全体を持って静かにはずしてください。 洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。 ●部品をはずす際は、けがのないよう静かに取り扱ってください。	
④	ボ ー ル カ バ ー	飾りネジ2箇所をゆるめ、ホースを引き抜いてはずします。 洗浄した後、水気をよく切り、取り付けてください。 ●ホースがねじれないよう注意して取付けてください。	
⑤	フ ィ ル タ ー	フィルターを手前に引き出し、付属のフィルターと交換してください。 ●汚れたフィルターはぬるま湯に浸け置き洗いした後、十分乾燥させてから保管してください。	
—	湯 タ ン ク	湯排水コックを開き、湯タンクの水を新しい水と入れ替えてください。	

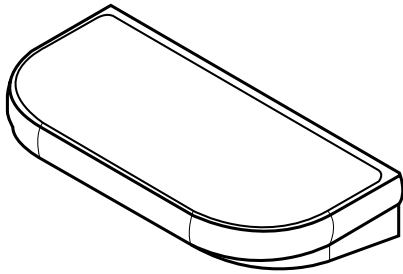
月に一度のお手入れ

①～⑤までの部品を取りはずした後、手順にしたがい部品を取りはずしてください。

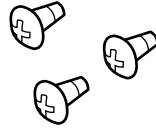
手順	部 品	お手入れのしかた	
⑥	原 料 容 器	原料容器中の原料を出して、ぬるま湯で洗浄した後、十分乾燥させてください。	
⑦	排 水 皿	本体底部から引き出して、ぬるま湯で洗ってください。	
		直接排水式 (Dタイプ) の場合は、排水皿エルボから排水ホースジョイントをはずし、排水皿を引き出してください。再度取り付ける際は、排水ホースジョイントを排水皿エルボ先端に確実に押し込み、緩みの無いことを確認してください。	
—	置 台 排 水 口	置台上方の排水受けの排水口がゴミなどでつまることがあります。化粧ネジ (1本) を取り、排水受けをはずし点検してください。ゴミなどがつまっているときは、清掃してください。	

カップ置台の取付方法

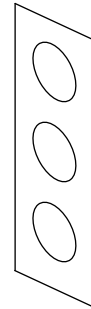
■この自動お茶いれ機には、次の部品が入っていますので確認してください。



カップ置台



タッピンネジ×3



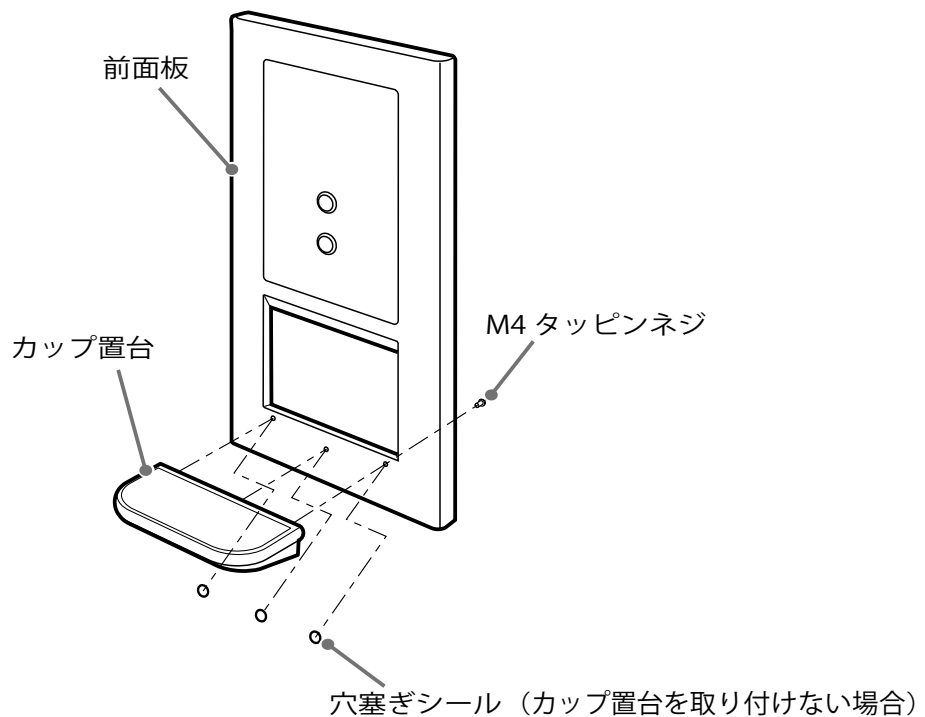
穴塞ぎシール
(カップ置台を取り付けないときに使用)

■使用工具：+ドライバー

■取り付け方法

1. 前面板の販売口下にある穴3箇所を使用し、付属のM4タッピンネジ3個でカップ置台を確実に固定します。
このときの締め付け力は $0.8\sim 1.0\text{ N}\cdot\text{m}$ にしてください。
強く締め付けると、カップ置台が破損するおそれがあります。
2. 取り付け後、ぐらつかず取り付けられていることを確認してください。

※ カップ置台を取り付けない場合は、付属の穴塞ぎシールで前面板の販売口下にある穴3箇所を塞いでください。

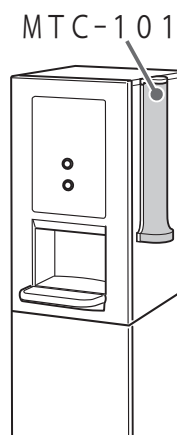


別売部品

次のものが別売部品として用意されています。詳しくは販売店にご相談ください。
置台については「はじめてご使用になる前に」(7~8ページ参照)をご覧ください。

カップホルダー (MTC-101)

MTC-101は、カップサイズが4段階調節可能で、自動お茶いれ機本体の左右に取り付け可能です。



原料

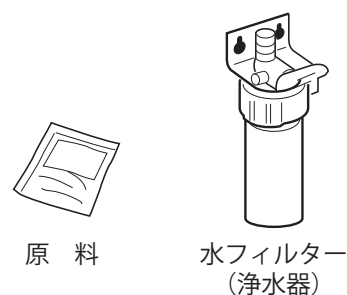
自動お茶いれ機専用として、特に厳選された原料を用意してあります。
原料は粒度や吸湿性の違いにより正常な動作ができないことがありますので、必ず指定の原料をご使用ください。

粉碎茶用原料容器 (FCR-6L)

粉碎茶原料を使用の際に必要となります。
別途、本体の設定が必要です。(11ページ参照)

除菌浄水器 (水フィルター)

水道水に含まれる臭いを除去し、雑菌繁殖を防ぐためのものです。
水フィルターは性能を維持するため、定期的に交換が必要です。
詳しくは販売店にご相談ください。

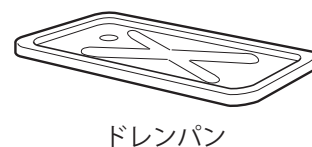


漏水検知装置 (RKT-25) [D/Tタイプ用]

リード線付漏水センサー・外部追加の電磁弁・ドレンパンなどのセットで、
万一水漏れした場合に外部追加の電磁弁を閉める機能があり、水漏れに対する
安全性が向上します。

ドレンパン (RKT-01P) [D/Tタイプ用]

置台の下に敷き、床面を汚さないようにするためのものです。
大きさは524mm×574mmで、深さは25mmです。
※床固定金具との併用はできません。



リード線付漏水センサー (RKT-03P) [D/Tタイプ用]

ドレンパンとセットで使用し、万一水漏れした場合に検知します。

修理サービスを依頼する前に

こんなときは	調べるところ	処置のしかた
湯が沸かない	●電源プラグがはずれていませんか？	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。
	●電源スイッチが切れていませんか？	●電源スイッチを入れてください。
	●水タンクに水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水タンクの残水量が少なくなると本体へ給水しなくなり、湯タンクの水位が下がりヒーターに通電されなくなります。タンクに水を補給してください。
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？(水道直結タイプの場合)	●同上の理由でヒーターに通電されなくなります。給水配管の止水栓を開いてください。
湯がぬるい	●湯温の設定が低くなっていませんか？	●お望みの温度に設定してください。
	●湯排水コックはしっかりと閉まっていますか？	●湯が流れ出て、常に新しい水が入っているためです。湯排水コックはしっかりと閉めてお使いください。
	●水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水を補給してください。 約30分で沸き上がります。
	●断水していませんか？または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？(水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。
飲料ボタンの「準備中」が点灯している	●連続して多量のお茶やお湯を抽出した後ではありませんか？	●再び湯が沸くまでお待ちください。
	●「湯が沸かない」「湯がぬるい」の項参照。	●同左。
飲料ボタンの「準備中」が点滅している	●置台の排水タンクが満水ではありませんか？	●排水タンクの水をすててください。
	●水タンクには水は充分入っていますか？ (下部給水タイプの場合)	●水を補給してください。
	●断水していませんか？ または給水配管の止水栓が閉まっていませんか？ (水道直結タイプの場合)	●給水配管の止水栓を開いてください。
運転音が大きい	●機体が不安定ではありませんか？	●丈夫で平坦な場所に据えつけ、機体がグラグラしないように安定させてください。
	●機体が他の製品に触れていませんか？	●他の製品から離してください。
飲料の味がまずい 飲料の味が薄い 飲料の味が濃い	●湯・水・原料の量の設定は適切ですか？	●湯・水・原料の量を、お好みの味となるように再設定してください。
	●原料の種類をかえていませんか？	●指定の専用原料をご使用ください。
	●原料は充分入っていますか？	●原料を補給してください。
	●原料容器出口がつまっていますか？	●湿気が多いと出口がつまることがありますので、原料補給時につまりを取り除いてください。
	●原料シュートは取り付けられていますか？	●原料シュートを取り付けてください。 原料シュートがないと原料が飛び散ります。

仕 様

項 目	HTC-216L	
製 品 寸 法	巾335mm × 奥行445mm(カップ置台取付時548mm) × 高さ650mm(置台組合せ1430mm)	
製 品 質 量	18kg	
タ ン ク 容 量	5.6L	
湯 温 度	約90℃(80~98℃可能)	
原料容器の容量	約800ml	
給 水 管 口 径	G1/2A	
電 気 定 格	電 源	単相交流100V 50/60Hz共用
	消費電力	1,020W
表 示	LEDランプ	
加 装 熱 置	電熱装置	シーズ線ヒーター(1,000W)
	温度調節	サーミスタによる電子コントロール
	安全装置	温度過昇防止器
付 属 品	取扱説明書、工事説明書、保証書、排水皿エルボ、フィルター、カップ置台(取付用ネジ付)、穴塞ぎシール、すべり止めシート	

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証書 (別添)

- この自動お茶いれ機には、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この自動お茶いれ機の保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。
その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- この自動お茶いれ機の補修用性能部品は製造打切後8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

17ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は.....
保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎている場合は.....
保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

■修理料金の仕組み.....

修理料金は技術料・部品代・出張料などで構成されています。	
技 術 料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部 品 代	修理に使用した部品代金です。
出 張 料	商品のある場所へ技術者を派遣する料金です。

出張修理

■ご連絡いただきたい内容.....

品 名	自動お茶いれ機
形 名	HTC-216L
お買い上げ日	年 月 日
故 障 の 状 況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印等も合わせてお知らせください
お 名 前	
電 話 番 号	
訪 問 希 望 日	
便 利 メ モ	お買い上げの販売店名を記入しておくとう便利です。 TEL.

長年ご使用の自動お茶いれ機の点検を！

<p>このような症状はありませんか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●ブレーカーがたびたび切れる。 ●電源コードや電源プラグに過熱や破損がある。 ●運転音が異常に大きい。 ●電源スイッチの動作が不確実。 ●その他の異常・故障がある。 	▶	<p>このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店に点検・修理をご相談ください。</p>
------------------------	--	---	--

⚠ 長期使用製品の安全に関する表示

■設計上の標準使用期間：7年（製造年：本体内に西暦年をラベルで表示しています。）
設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■設計上の標準使用期間とは
運転時間や温湿度など、下記の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。
また、一般的な故障を保証するものではありません。

■経年劣化とは
長期間に渡る使用や放置にともない生じる劣化をいいます。
標準的な使用条件と異なる場合、本来の使用目的以外や改造等で使用された場合短い期間で故障や経年劣化による発煙・発火の事故に至るおそれがあります。

■標準的な使用条件

区 分	項 目	条 件
環 境 条 件 (屋内使用)	電圧	交流100V
	周波数	50Hz／60Hz
	室温	1℃～35℃
	湿度	85%以下
負 荷 条 件	給水圧	0.1MPa～0.75MPa
	給水温度	1℃～30℃
	負荷	12時間／日 使用
使 用 条 件	1日使用杯数	100杯
	1ヶ月使用杯数	2,000杯
	1年間使用杯数	24,000杯